

ロータリーを楽しみ、親睦を深めよう

国際ロータリー第2650地区
2001～2002年度ガバナー

西村 二郎



奉仕のための親睦を深めることは、ロータリアンにとって大切な活動の一つです。ロータリー親睦活動は、2002年1月から国際ロータリーのプログラムの中に国際活動の一環として取り入れられました。

趣味別、職業別の親睦活動は、70以上のグループから成る活気溢れるプログラムで、親睦、奉仕、アイデア交換、国際理解の推進を通じてロータリアンを結びつけています。

この活動には、全世界のロータリアンの趣味や職業を反映して、キャラバン式旅行や囲碁、ヨットのグループから会計士や歯科医師の専門グループまでいろいろありますが、ベースには同一の理念と基盤を分かち合っており、その活動が成立しています。

新しい友人を見出し、奉仕の機会を増やすための、ロータリアンがロータリアンのために組織した親睦活動です。多くのロータリアンが口を揃えて絶賛するロータリーの秘奥をあなたも発見することができるでしょう。

ロータリー活動にはたくさんの楽しみがあります。毎週の例会に出席し、同僚会員と顔を合わせ、会話をすることによって、知識や情報などの刺激のシャワーを浴びます。それによって日々の仕事の疲れを癒し、生気を取り戻すことができます。そして自分中心の殻から抜け出し、善意、寛容、慈悲と忍耐の心を持って、人々に何の奉仕ができるのかを考えるように導かれます。

私たちロータリアンは、このような奉仕の機会に恵まれていることに感謝しなければなりません。奉仕をさせていただく喜びを感じると同時に、奉仕には感動が求められ、その感動が私たちを癒し、充実感を与えてくれるのです。

本年1月、私は世界社会奉仕の活動でミャンマーでのポリオワクチンの経口投与と、地区小学校の落成式に参加しました。子供とその両親の満足した笑顔に接し、奉仕への感動を味わいました。ロータリアンで良かったという思いで、全身が震えたことを思い出します。

ロータリーに身を託し、その活動を通して心を温めようではありませんか。今までにない感動があなたを癒してくれます。

心からの思いやりを持って会員が集い、そして喜び、悲しみ、慰めを共にする時、そこにコミュニティが生まれ、真の友人同士になれます。友人は希望を与え、信念を高め、身をもって愛を実践してくれます。この人間関係こそ、ロータリーの持つ最も大きな財産の一つで、ロータリー活動のエネルギーの源でもあります。

私の所属する京都南ロータリークラブには、たくさんの公式、非公式の同好会があります。会員は好みの同好会に入り、先輩、後輩の区別なく、和気あいあいとお酒を飲んだり、討論を展開したり、ロータリーをエンジョイしています。

京都南ロータリークラブが現在220余名の会員を持ち、活発な活動を展開できるのも、ロータリアンとして、友人としての親睦がうまく機能しているからです。ロータリーが楽しく、魅力的であることが、退会防止にもつながり、会員増強の輪が広がっていくものと確信しています。

このことがすなわち、本年度のRichard D. King会長のR.I.テーマ「Mankind is our business - 人類が私たちの仕事」なのです。

6月はロータリー親睦活動月間です。より多くのロータリアンが自分の好きな趣味や専門的な活動を分かち合う、趣味・職業別親睦活動に参加されることを心から願っています。

2001-2002年度 地区大会を終えて

夢と感動と「癒しの心」を共有して



ガバナー
西村二郎

新緑の美しい京都洛北の地で、4月27日(土)、28日(日)両日に開催された地区大会を無事終えることができました。

ピチャイ・ラタクルR.I.会長代理をお迎えし、山田啓二京都府知事、榎本頼兼京都市長、村田純一京都商工会議所会頭のご来賓を迎え、千宗室R財団トラスティール.I.元理事、板橋敏雄R.I.理事、小谷隆一R.I.元理事、パストガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミネーそして姉妹クラブと、多くのロータリアンの皆さまと、夢と感動と「癒しの心」を共存することができ、感謝の心で一杯です。ありがとうございました。

共に語れた「人類への奉仕」



地区大会委員長
内田昌一
(京都南RC)

薫風さえる京都洛北の地に、3,264人と多数の会員の皆様にご登録をいただき、第2650地区大会を盛大に開催することができ、心より厚くお礼申し上げます。

ロータリアンの時間を大切に考え、簡素にして、有意義な大会にすべくクラブを挙げて取り組みました。

小谷隆一R.I.元理事の講話による新会員セミナー、青少年プログラムである友愛広場での交流、本会議では来賓紹介や参加クラブ紹介で盛り上がり、大会決議案が上程採決されました。

千宗室R財団トラスティール.I.元理事からは、格調高い基調講演「ロータリーの未来とその在り方」を通して大いなる指針を頂戴し、一般市民参加イベントの青少年シンポジウムでは、国際日本文化研究センター所長・山折哲雄氏の講演「今を生き、未来を生きる - 日本の若者たちへ」は多くの人々に大きな示唆をいただきました。皆様にあらためて心から厚くお礼を申し上げます。

こちよい点鐘の響き



ホストクラブ会長
岡田祐雄
(京都南RC)

西村二郎ガバナーの閉会宣言・点鐘がこちよく響いた。地区大会をなしとげたという思い一入であった。ロータリアンの友情に感謝いたします。

ホストクラブとして、なにができるのか。これまでの地区大会をそれぞれが省みて、変革でき得るところ、しなければならないところを議論し、質素にしてスリム、ムダをはぶき、時間を大切にをモットーにして、ロータリアンが参加しやすいプログラムを組みました。

お蔭さまで初期の目的を達し、今後の地区大会のあり方に、一石を投じたものと確信致しております。多数のご登録、ご出席をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

不行届の点は何卒ご容赦下さいますようお願い致します。

地区大会決議

地区大会決議委員長 山室 義郎 (舞鶴RC)

【決議第1号】2001～2002年度国際ロータリー・テーマ実践に関する件

2001～2002年度国際ロータリー会長リチャードD.キング氏は、本年度国際ロータリーのテーマとして、「人類が私たちの仕事」を提唱されました。国際ロータリー第2650地区のロータリアンは、このテーマを理解し、積極的にその実践に努力してきたことを確認するとともに、その成果をより高めるために、さらに創意と工夫を加えて奉仕活動に献身することを、ここに決議します。

決議第2号～決議第17号までは省略させていただきます。

なお、決議文は地区大会記念誌に掲載致しますのでご了承下さい。

【決議第18号】次年度地区大会の開催の件

国際ロータリー第2650地区2002～2003年度地区大会は、奈良RCをホストとして、2003年4月5日(土)6日(日)奈良市なら100年会館において開催することを、ここに決議します。

地区大会フォトレポート



受付風景



展示の前で



西村二郎ガバナー



ビチャイ・ラタクルR.I.会長代理



千宗室R財団トラスティー・R.I.元理事



会長・幹事・地区委員長会議



本会議風景

地区大会フォトレポート



新会員セミナー
小谷R.I.元理事（京都RC）



R.I.会長賞受賞 富田会長（京都RC）



岩佐地区幹事長（京都南RC）と
洲崎地区大会実行委員長（京都南RC）



ポールハリスフェロー朝食会
ピチャイ・ラタクルR.I.会長代理と
板橋R.I.理事（足利東RC）



青少年シンポジウム講師 山折哲雄氏



G.S.E.のメンバー



友愛の広場 もちつきをされる西村ガバナー



友愛の広場風景



R.I.会長代理歓迎晩餐会



ピチャイ・ラタクルR.I.会長代理 お見送り

森鷗外邸跡整備事業など

創立50周年を迎えて

奈良ロータリークラブ 幹事 吉田 彰男

創立50周年を迎え、3月27日(水)、なら100年会館にて記念式典を、三井ガーデンホテルにて懇親会を開催した。奈良県知事・奈良市長を始め、県下各地よりご来賓をお迎えし、西村ガバナーを筆頭に、地区内外の会員、更に海外友好クラブの台南南・慶州・キャンベラからの多数のお客様、そして我がクラブの会員・会員の家族併せて470名の出席を得た。

式典では、松井会長より50年間の感謝の言葉があり、100周年にむけて地域社会と共に歩むロータリークラブとして、2650地区、更に海外の友好クラブの皆様と共に、奉仕に邁進する力強い決意表明があった。

記念事業として、顕著な奉仕活動を続けておられる団体を「友愛大賞」として表彰を行うと共に、式典までに実施した下記記念事業を披露した。

イ) 森鷗外邸跡整備事業 - 帝宝博物館(現国立博物館)総長であった森鷗外と、奈良との関わりを広く知らしめるため、官舎跡地の整備と石碑の建立を行った。

ロ) 社団法人青少年友愛会の設立 - 青少年育成、青少年問題の調査研究、及び地域社会への啓蒙を目的として社団法人を設立し、活動の拠点として建物を取得、寄贈した。

式典に先立つ記念コンサートには、一般市民を含め400人の入場があり好評を得た。



満開の桜が未来を祝う

創立30周年を迎えて

大津西RC 会長 橋本 猛

わがクラブは今年、創立30周年を迎えるにあたり、記念事業のテーマを環境問題に設定して、船上青少年会議、記念植樹、記念講演会(予定)などの記念事業を展開してきました。

4月4日(木)、創立30周年を祝う記念式典と祝宴を開催。山田大津市長、北村志賀町長、そして西村ガバナー、21の県下各ロータリークラブの会長に、また姉妹クラブの台湾屏東東ロータリークラブから男女総勢13名の客人を迎え多くのご出席をいただきました。

会場はびわこ花街道(国華荘)。30年前、わがクラブが誕生し、27年間例会場として世話になった所です。会員それぞれに思い出のある会場に、久しぶりに集まった記念式典でした。

祝宴は、地元仰木小学校の児童20名の演奏する仰木太鼓に迎えられての開宴でした。宴会は、津軽三味線の余興もあり、何時になく和気あいあい。県下各クラブの会長とわがメンバーが、ロータリーの未来について、熱く語り合いました。

今年の桜前線の北上は、記録的な速さでした。何時もの年だと大津では開花も怪しい4月4日。今年にはわがクラブの創立記念の日に合わせて、満開の花を咲かせてくれました。我々のクラブが益々向上発展していくことを祝ってくれるようでした。ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。



Happy Smile! ~ええとこやん大津 大津RAC30周年を迎えて

地区ローターアクト委員会 委員長 **長崎 一幸** (舞鶴東RC)

1971年、地区内5番目のローターアクトクラブが大津ロータリークラブの御提唱により設立されました。3月21日(木)、30年の節目を記念し、片岡青少年担当地区幹事、阿原青少年担当地区副幹事を始め、地区役員の皆様のご臨席のもと、30周年記念式典が開催されました。

大津ローターアクトクラブは、クラブテーマ「Happy Smile! ~ええとこやん大津~」を掲げ、大津



の街の活性化、大津再発見に取り組み、琵琶湖の自然の豊かさを大切に、大津を訪れた人達に心にゆとりと癒しを感じる街にと、事業を展開されています。30周年記念式典ののち、大津再発見を湖上からと船上より街を望み、和やかに祝宴が行われました。

地球にやさしい環境を

亀岡RAC25周年を迎えて

地区ローターアクト委員会 副委員長 **西村 孝之** (京都山科RC)

亀岡ロータリークラブの御提唱により1977年、地区内18番目のローターアクトクラブが設立されました。3月24日(日)、25年の節目を記念し、亀岡市長をはじめ、地元関係各位、R.I.第2650地区西村ガバナー、山田パストガバナーを始め、地区役員の皆様のご臨席のもと25周年記念式典が開催されました。

亀岡ローターアクトクラブは25周年記念事業として、地球にやさしい環境ゴミ問題を取り上げ活動されています。我われの時代のゴミは、我われが決して次代まで持つことがないよう、それこそが亀岡の美しい自然、保津川の流れもきっと清くすんだ川のまま、次代へ引き継がれることと思います。

自然の大切さを認識することにより、良い環境づくりが今後も展開されることでしょう。



一しょう懸命

福知山RAC25周年を迎えて

地区ローターアクト委員会 副委員長 **木村 吉男** (草津RC)

丹波、丹後、但馬の中核都市福知山に、1977年地区内17番目のローターアクトクラブが、福知山ロータリークラブの御提唱により設立され、25年目を迎えました。4月14日(日)、福知山市長をはじめ、地元関係各位、田中地区副幹事長、阿原青少年担当地区副幹事を始め、地区役員の皆様をお迎えし25周年記念式典が開催されました。

福知山ローターアクトクラブは、提唱ロータリークラブの暖かいご尽力のもと、常に安定したクラブとして活動されています。本年度クラブテーマに「一しょう懸命」をあげ、地域を巻き込んだ活性化に取り組んでいます。今、求められているのは何かを見定める目を養い、地元に根付いた活動をめざしたクラブに期待します。



アジア・プレジデンシャル大会に出席して

第2650地区パストガバナー 坂部 慶夫（京都洛中RC）

去る3月22日（金）～24日（日）、台北において、2002年アジア・プレジデンシャル大会が行われ出席して参りました。R.I.理事 寶其光氏の統率の元で、R.I.キング会長を中心に内容豊かな会合でした。会場は円山ホテルで、全てが英語と中国語で進行されました。開会での各国の国旗の入場は何時ものことながら感動的でした。キング国際会長のスピーチは例によって歯切れの良いもので、各スピーチの最後は“人類こそ私達の仕事”で結ばれるのは印象的でした。ジアイR.I.財団委員長も出席しておられ、財団の現状報告をされました。貧困、飢餓、住居問題、環境問題、青少年問題等が全会合を通して取り上げられた主題であったように思います。

お国がらで、中国大陸の2008年のオリンピックに焦点を合わせての大陸へのロータリーの奉仕が拡大できるかどうかのトピックが取り上げられていました。「私は何故ロータリアンになったか？」の主題でのセッションも、私たちロータリアンに問い掛けられているような切実な問題のように受け取られました。会員増強は特に太平洋・アジア地区での問題が話し合われ、ロータリーのイメージを如何に高めるかも議論的になっていました。

2日目の夜の合同協議では、日本の部があり、板橋RI理事の司会の元で台湾の林氏（小生と同期の元ガバナー）も加えて、大島、池上、重田、野沢、藤川のパスト・ガバナーが、主として増強、財団の問題を発言されました。菅野、菅合、田中のRI理事関係者からもそれぞれ短い発言がありました。その他の会合では、3つのmore、即ち、more member、more donation、more serviceが強調され、全般的に実りの多い大会でした。出席者は合計860名、内日本からは134名の出席がありました。台湾の470名に次いで多く、2004年の大阪〔関西〕国際大会に台湾からの出席が期待できそうです。

関西空港で出会った多くの京都南ロータリー・クラブの方々はこの大会ではなく、姉妹クラブ訪問の方々でした。以上報告を終わります。



文庫通信 会員増強に関する最新の資料から

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------|--------|-------------------|
| 「会員増強に関する三つの嘘」 | 上野 孝 | 2002 | 2頁（D.2590月信9号） |
| 「人を育てるロータリークラブ ロータリーの入会をお考えになっている方に」 | 竹ノ谷光美 | 2001 | 1頁（D.2770月信10号） |
| 「ディベート・ゲーム：会員増強は質よりも量である」 | 正木 義完・奈良井 豊 他 | 2002 | 12頁（D.2650 IM報告書） |
| 「都市社会学からみたロータリーの活動」 | 小谷 典子 | 2002 | 2頁（ロータリーの友1月号） |
| 「一隅を照らす - 新世代のロータリー・クラブ - 」 | 佐藤 千尋 | 碧南R.C. | 2001 50頁 |
| 「日本のロータリーの今後」 | 高垣 義生 | 2002 | 1頁（ロータリーの友3月号） |
| 「21世紀のロータリーは」 | 戸田 孝 | 2000 | 2頁（D.2660月信6号） |

[申込先：ロータリー文庫]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

2003-05年度世界平和奨学生の募集に当たって

ロータリアンは長い間、世界理解と平和というロータリーの使命を推進するためロータリー大学の創設を夢みてきました。7センター8大学と提携され、選ぶことができます。

日本の奨学生は国際基督教大学以外の大学を志望できます。

詳しいことはガバナー事務局までお問い合わせ下さい。

見えへんってどういうこと？ 『チャリティーコンサート開催』（京都東RAC）

ローターアクト委員長 吉川 順介（京都東RC）

私共が提唱しております京都東ローターアクトクラブは、去る3月10日（日）京都アスニーにて社会奉仕プロジェクト「助け合いの心を育もう！～目が見えへんってどういうこと？～Part 2 “京都ライトハウス改築支援”チャリティーコンサート&講演会」を主催させていただきました。

各種団体からの後援、協力を得、当日は関係各位、視覚障害者、一般など多数の来場者に恵まれ、京都府視覚障害者協会理事 松永信也氏による講演と、筑前・肥後座頭琵琶演奏者 片山旭星氏による琵琶の演奏、京都ライトハウス点字図書館に、RAC会員が点訳した詩集の贈呈式を行うことができました。

参加した方々からは「久しぶりに楽しませてもらった。若い世代も捨てたものではない、視覚障害について理解が深まった」など概ね好評な感想を頂戴し、また予想以上に得ることができた収益は、京都府視覚障害者協会を通じて寄付することになっています。

京都ライトハウス改築支援に加え、視覚障害についての理解促進、視覚障害者への娯楽提供を目的としたこのプロジェクトは、大変有意義なものとなったであろうし、今後のRAC活動においても活かして行って欲しいと思っています。



若人に夢を託そう

地区国際青少年交換委員会 委員長 松山 隆（奈良RC）

昨年7月に派遣学生を募集し、今日まで数回の研修会を終え、次年度8月に派遣される人を紹介します。世界に羽ばきた、国際交流の一端を担って欲しいと願います。

2002-2003年度 派遣学生・派遣国

| 学生氏名 | スポンサークラブ | 派遣予定国 | 派遣地区 |
|-------|----------|-------|--------|
| 戸田 耕二 | 福井南 | ブラジル | D-4530 |
| 酒井麻友子 | 鯖江北 | USA | D-6930 |
| 奥村 雅美 | 大津唐橋 | オランダ | 未定 |
| 上田有理子 | 野洲 | カナダ | D-7080 |
| 中村 仁美 | 亀岡 | ハンガリー | D-1910 |
| 中澤 亜紀 | 亀岡中央 | ベルギー | D-2170 |
| 西 優紀 | 京都伏見 | カナダ | D-6400 |
| 中村志帆里 | 京都西山 | USA | D-5010 |
| 筒井 保有 | 京都洛中 | ブラジル | D-4760 |

| | | | |
|-------|------|--------|--------|
| 谷川真知子 | 京都洛南 | メキシコ | D-4180 |
| 有馬 梨紗 | 奈良 | 南アフリカ | D-9850 |
| 木内 花菜 | | USA | ESSX |
| 小林由香里 | | アルゼンチン | D-4930 |
| 森本 紗世 | | デンマーク | D-1470 |
| 涌田 綾 | 奈良西 | スウェーデン | 未定 |
| 吉村真奈美 | 王寺 | USA | D-5470 |
| 畠山 大輔 | 大和高田 | ベルギー | D-1620 |
| 17名 | 14RC | 11カ国 | |

“ それでこそロータリー ” を発揮しよう

2002～2003年度 第2回地区委員長連絡会議開催さる

2002～2003年度地区委員会担当幹事 本田 正人(奈良RC)

3月30日(土)奈良新公会堂に於いて、西村ガバナー、岡村ガバナーエレクトはじめ関係地区役員、各委員長、オブザーバーを含め72名にて開催されました。

会議は、西村ガバナーの開会挨拶の後、岡村ガバナーエレクトが国際協議会の報告と次年度地区委員会活動に就いての所信を述べられました。

委員会予算説明に引き続き、各委員会の活動計画が発表され、その後松岡幹事長からの要請事項があり、会議は無事終了するかに思われましたが、質疑応答の時に委員会予算の件で意見の食い違いがありました。

この件に関しては、ご存知の通り会員数の減少傾向が近年特に著しく、地区予算の逼迫を想定せざるを得ない現状を踏まえてのことであると、ご理解して戴くしかないので。

ガバナーエレクト事務所としては、少ない予算で最大限の効果を上げて戴く活動を、各委員長・委員に期待するのみです。

潤沢な資金で奉仕活動を行うことは誰にでもできることで、今こそ「それでこそロータリー」の本領を発揮して戴きたいのです。

最後に、各クラブに頼もしい委員長様、委員様をご推薦下さいましたことを、心よりお礼申し上げます。



クラブだより

ロータリー研究会

テーマ「ロータリークラブでの青少年問題」

ロータリー情報委員長 田中 文夫(福井南RC)

3月7日(木)、午後6時半より2時間、当クラブ会員12名参加のもと、織協ビル807号室にて渡辺幹事の基調講演を聞き、参加者全員意見を述べ合い、子供の教育について語り合いました。

親や大人は、子供の頑張りや側面からサポートする応援隊であり、人生の長い経験を節目の折々に発揮し、子供の自立心を促すべきです。抑えるよりは、伸ばす、引き出す、植え付けるをキーワードに次世代を担う若者を育てよう。



《友情交換プログラム リポート》

地区国際交流委員会 委員 山本 和秀 (京都山城RC)

本年度の友情交換プログラムは第7350地区 (米・ペンシルベニア州) 4月22日(月)、京都駅に着かれました。

メンバーは

- ・ Mr. Carl Flohr (RID7350 Past Governor)
- Ms. Arlene Flohr (wife)
- ・ Ms. Jennifer Nachamkin (Rotarian)
- Mr. Alan Nachamkin (husband) の2組の御夫婦です。

スケジュールの説明を兼ねて、地区国際交流委員会による「歓迎ティーパーティー」をしました。

- 4/22(月) 観光・京都班：南禅寺・平安神宮・金閣寺散策
- 観光・滋賀班：石山寺等散策
- 夕方 京都平安RC設立総会 (京都パレスサイドホテル) 参加

4/23(火) 大津RC例会出席 (同クラブの御招待) ミシガンによる琵琶湖クルージング

4/24(水) 京都西北RC例会出席 (同クラブの御招待) 嵐山・天竜寺・大河内山荘見学

4/25(木) 東大寺・春日大社参詣 人力車による奈良観光

4/26(金) ティーセレモニー参加 西陣旧家・伏見酒蔵庫街・ハンディクラフト見学・買物

4/27(土) R.I.会長代理歓迎晩餐会出席

4/28(日) 第2650地区大会参加 昼食後、Flohr御夫婦帰国

4/29(月) Nachamkin御夫婦帰国

宿泊は徳田定弘会員 (大津RC・地区国際交流副委員長)・藤井真一会員 (京都西北RC・地区国際交流委員会委員) 宅にお世話になりました。

奈良観光にあたり、有馬孝清会員 (奈良RC) の奥様 佐千栄様、御息女 良子様にも多大なお世話になりました。付記して感謝申し上げます。



ポール・ストリートDG 来局

3月29日(金)、2001-2002年度第9710地区ガバナー ポール・ストリート氏 (キャンベラ) が私共のガバナー事務所を訪問されました。

西村ガバナーは来局を歓迎された後、昼食をともにされ、互いにロータリーの理念と使命を語り合い、世界平和と今年度R.I.のテーマ、“人類が私達の仕事”を確認されました。



未来への発信

年齢を配慮した増強を



京都洛中RC 山田 隆之

私が洛中ロータリークラブに入会させて頂いて2年が過ぎようとしている。入会のお誘いを頂いた時、私のような若いものが本当に入会する資格があるのか、そのような疑問を感じるほどロータリークラブのイメージは資質と共に年齢も高いものであった。

今回の寄稿のテーマに“若きロータリアン”という言葉があるが、私には、“若き”という単語の中に少数という意味が感じられ、ロータリークラブが抱える弱点のようにも思える。

もともとロータリークラブは若い年齢層が少なかったのではなく、時間の経過と共に偏った形になったとも考えられ、私が在籍するクラブもチャーター時には平均年齢48歳と比較的に若い世代を中心に構成されていたが、現在は60歳を越えようとしている。

全国的に会員の減少が叫ばれている中、会員増強が大きな課題であるが、年齢を配慮した増強がもっとも重要であり、課題である。このまま年齢層の空洞化が進めば、次世代にロータリアンを残すことがむずかしくなるのではないかと思う。

また、ロータリークラブとは何をし、何の目的で集まっているクラブなのかを広報し、外部に内容を理解して頂き、知ってもらうことが重要で、現に私も高齢者の社交クラブ的な見方をしていた。しかし現実には、忙しい時間をさいて集まり、社会奉仕、青少年奉仕など真剣に議論し、社会に多大な貢献をしている。

今後私たちが迎えようとしている時代は、経済的、社会的にも混乱と発展が共存するような激動の時代である。職業人である私たちは、この混乱の中、淘汰されないように敏感に反応し努力していかなければならない。しかし、このような時代こそロータリーの思想をアピールし、先輩方が作られた理想を広げ、認識を深めていただくことが会員増強、ロータリーの発展にもつながると思う。

私の周りのロータリアン



ガバナー事務所分室 石見 綾子

「なんちゅうか本中華～」分室へ来る度にこういうギャグを飛ばしては帰って行く某氏。何を隠そうこの方が分室勤務を始めて以来（といっても2年を満たないのですが）の私の上司です。週1回の来室はジョークのウケ具合を試すためではなく、新人である私の業務が滞りなく行われているかを確認するため、私が忙しい時にはできるだけ負担がかからないよう配慮して下さる優しい上司でもあります。

「いつも有難うございます。宜しくお願いします。」お電話の度にご丁寧な挨拶を下さったもう一人の上司。1年かけて委員会のお仕事を辛抱強く教えて下さった。私が何かを仕出かすと、あらま！困りましたね～。じゃあこうして下さい、と冷静に次の指示をされる穏やかな上司でした。

「Good morning!」穏やかな上司の後任でなぜか英語で電話をかけて来られる3番目の上司。私のやり易いように仕事をさせて下さる放任主義の上司ですが、間違いはきちんと教えて下さる。失敗すると、これからはお互い気をつけましょう、と私一人を責められることはない。

どなたも私の尊敬するロータリアンであり、彼らの言動や指導には、暖かさという人間に対する信頼が感じられる。だからこそそれを裏切りたくないと思う。このような素晴らしい上司の下で仕事ができることは幸運であり、その幸運を無駄にしないためにも私はできる限り人に喜ばれる仕事ができるよう努力すると共に、このようなロータリアンをお手本として自己錬磨に努めたいと思っている。



ク ラ ブ 自 慢

ゴルフの醍醐味は19番ホールで決まる

上野 全人（彦根南RC）

我々彦根南ロータリークラブは、来年度25周年を迎える節目の年度であります。先輩方の企画実行されてこられました行事をリニューアルし、新しく飛躍していこうと考えているクラブであります。

今回はゴルフ同好会についてご報告します。ゴルフ同好会は年4回、我々の親クラブであります、彦根RCと合同にてコンペを開催し活動しています。ルールはダブルペリア方式で上位5人の成績にて勝敗を決めます。負けたクラブは勝ったクラブに、参加者1人1,000円のニコニコ袋を渡すことになっています。普通は負けたり、勝ったりするものですが、ここ数年は1勝3敗か4敗になっています。彦根南RCは奉仕する人がどうしても多いようです。また秘密兵器と言いましょうか？ 隠し玉と言いましょうか？ そういう凄い会員の入会や育成がどうも苦手なようです。

しかし、ゴルフは19番ホールが大切です。お風呂に入りその日の疲れを落とし、そして場所を変えての懇親会。懇親会場ではあまり負けたことは記憶にございません。彦根南RCクラブでも、特に愛知川方面は昔より水が良く米所ということでうまい酒ができ、地酒の美味しい所です。よってお酒にはちょっとうるさくなるのもわかります。「おひとつどうぞ」と言われたらたまりません。つい「ありがとう」と手が出ます。とにかく懇親会は盛り上がり、非常に楽しいひとときを過ごさせていただけます。

やはりゴルフは19番ホール。懇親を深め友情の輪が一段と深められます。それが彦根南ゴルフ同好会でございます。皆さんも一度ご参加してみたいと思います。



「クラブ功労者」を設けて

山岡景一郎（京都西南RC）

まず我がクラブで会員相互の仲がよく、お互いがよく理解し尊重しあってクラブ運営を行っていることを指摘しておきたい。当クラブの自慢と特徴を例記してみよう。

1) 年次にとらわれない役員選出

我がクラブでは会長経験者・年長者なども、クラブ内役職を喜んで分担している。現在副S.A.A.とクラブ奉仕委員長が会長経験者で、理事6人のうち、2人および副会計は70歳代である。一方、クラブ経験の少ない会員、年若い会員も協力している。幹事、副幹事は入会5年以内である。こうした体制でもブーイングのでないことがクラブのよいところであろう。

2) 会費が安い

本年度会費を15万円から12万円に、入会費を15万円から5万円に変更した。時代を見据えた運営で、ロータリーもバブル的な雰囲気卒業して、本来の主旨にそった金銭感覚をもつべきである。無駄を廃して、よい効果を目指そうという精神である。

3) クラブ功労者制度

本年度上記「クラブ功労者」を設置した。旧シニアに相当する経歴のある会員に、クラブとしてお礼と感謝をささげようということである。現在までに2名がクラブ功労者となり、ルビー入りのバッジを贈られている。



4) その他の活動

- ・米山奨学生を現在3名お世話していること。
 - ・地区委員長、副委員長に計4人を出していること。
 - ・互いの職業を「よく知り合おう！」ということで『私の仕事』という冊子を作っていること。
- なども「京都西南ロータリークラブ」の自慢できることと思っている。

ク ラ ブ 自 慢

山荘での花見例会 - 出席率の高い移動例会(めざせ出席率100%) 奥本 隆一(京都山城RC)

我が京都山城ロータリークラブは、創立13年をむかえる京都府最南部に位置するクラブです。また当クラブのバナーにも描かれているように、歴史と文化にも数多く恵まれ、関西文化学術研究都市として、新しい文化、研究および住居施設が建設中であります。こうした自然が多く残された環境の中で、我々クラブ活動が活発に行われています。

これまでも当クラブは、毎年何回かの移動例会を行って参りました。今年度は例年にも増して、浄瑠璃寺本堂、九体阿弥陀如来を前にしての早朝例会から始まり、禅定寺本堂での尺八演奏による月見例会、そして笠置山山荘での花見例会等たくさんの移動例会を行いました。普通の例会とは異なり、朝早く、また夜遅いときも、遠方にもかかわらず、意外に予想より高い出席率が判明しました。

例会は楽しくならないことには駄目だと改めて痛感しました(SAA・親睦委員の方々に感謝)。ロータリーの本質であります。

「親睦から奉仕」の出発点は例会であり、例会こそロータリーの基本活動であります。それだけに楽しい例会づくりは、クラブ運営の必須条件であります。今後例会場の楽しい雰囲気作りに会員が知恵を出し合うことに努めていただき、出席率100%をめざしたいと思います。そして57名の会員が、一丸になって何事にもチャレンジできるクラブになりたいと願います。



内なる国際化のモデルとして

山田 定男(宇治RC)

当クラブが1996~1997年度の国際ロータリー会長賞「意義有る業績賞」の栄に浴した「中国帰国者支援プロジェクト」の取り組みも5年が経過しました。

中国帰国者少女の「中学生主張」発表に、大きな感動と疑問から始まったこの取組みが、着実な歩みと成果をみせています。言葉の壁を乗り越えるために始められた中国帰国者への「日本語教室」は5年を過ぎ、今では宇治市国際親善協会のご支援を頂いて、日本人及び中国帰国者のボランティア講師の日本語指導によって見事に支えられています。

中国帰国者の子女に支給されている宇治ロータリークラブ奨学金は、高校生から大学生にまでその枠が広げられ、帰国者社会や地域のリーダー育成を念じたこの取組みも、着実にその足跡を刻んでいます。奨学生やOB奨学生のRYLAや新世代会議への参加、日本語教室のボランティア講師として活躍する姿に確かな成長がみられます。

地域社会の人々やロータリアンの善意によって、中国帰国者の支援と交流を目指した「朋友館運営委員会」も誕生しました。年に幾度か開催される朋友館交流会での互いの笑顔の中に「融和と共生」の芽生えが感じられます。

宇治という地域が「内なる国際化」のモデルとなることを念じつつ……。

